

微生物学 (Medical Microbiology)

担当教員名:教授 後藤 直正

【概要】

微生物の発見とそれを材料にした学問の進歩は生物学、生化学、遺伝学や分子生物学の基礎を形成した。このようなことから微生物学は生物の理解のための基礎とも言える。また、一方では有益な微生物を利用する応用微生物や疾病（感染症）の原因でもあり、微生物は人類と大きなかわりをもっている。薬学部では応用微生物学を知ること大事であるが、病原微生物を理解することによって感染症の予防と治療を知ることが重要である。

【授業の一般目標】

病原微生物（細菌、真菌、原虫、ウイルス）の細胞構造や性状の違いを理解することによって、感染症学や化学療法学の理解のための基礎を形成する。

【成績評価方法・基準】定期試験の成績によって評価する。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

質問がある場合は、メール「ngotoh@mb.kyoto-phu.ac.jp」でも受け付けます。ただし、携帯電話からの送信は返答できないことが多いので、PCから送信すること。また、直接、質問に来る場合もメールで日時を知らせてください。